

アドバンテスト社のスペアナによる

# スペクトル 波形連続取込(A)

R3271A/R3371A/R3265A/R3365Aは、アドバンテスト社の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-TRACEa-R	ラトックシステム社	190,000 円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
W32-TRACEa-C	コンテック社		
W32-TRACEa-N	NI社		
使用できる機種 R3271A/R3371A/R3265A/R3365A			

## 機能

スペクトル波形を指定した時間間隔で最大 3,000 個まで Excel シートに取り込みます。最初のシートが一杯になると自動的に次のシートに切り替わります。シートが不足した場合、シートを自動的に作成します。

周波数スイープ範囲は固定となります。

「PEAK」「NEXT-PEAK」「CENTER」「測定条件」のデータを同時に取り込むことが可能です。

取り込んだスペクトル波形の最初の 1 波形だけは、自動的に作図できます。

事前に判定値を入力すると、判定を外れた値は赤色で Excel シートに入力され、即座 GO/NOGO の判定ができます。

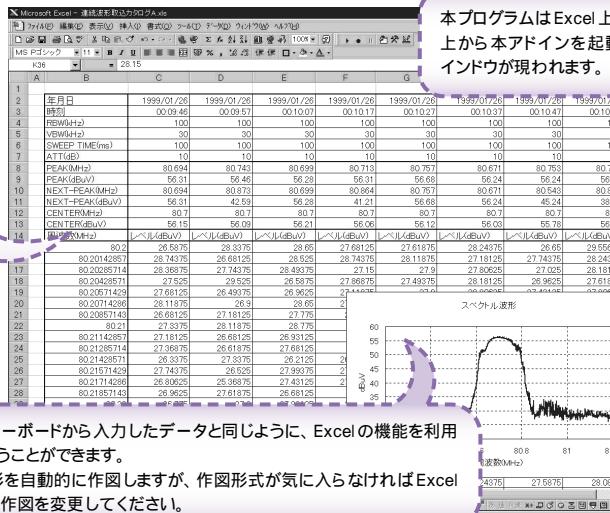
スペクトラムアナライザの設定を、パソコンから行うことが可能です。

Excel シート上のアンテナ補正テーブルのデータをスペアナに送信できます。

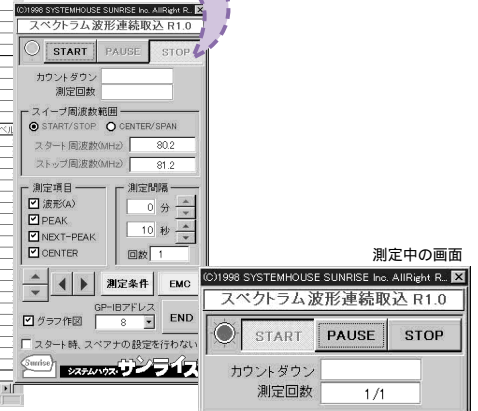


## 概要

「START」ボタンをクリックすると、測定器の設定を行った後、指定された時間間隔でスペクトル波形データを Excel シートに取り込みます。測定回数の指定が無い場合、シートを切り換えながら、最大 1,000 波形まで取り込みます。



本プログラムは Excel 上のアドインとして動作します。Excel 上から本アドインを起動すると、Excel シート上に、このウインドウが現われます。



Excel シートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excel の機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。本アドインは取込んだスペクトル波形を自動的に作図しますが、作図形式が気に入らなければ Excel のグラフィックガードを使用して自由に変更してください。

## 操作説明

データ取込を開始します。

スイープ周波数範囲の指定方法を切り換えます。スタート周波数とストップ周波数で指定するか、センター周波数とスパン周波数で指定するかの切替です。

周波数値をキーボードから入力します。

測定する項目を指定します。複数の指定も可能です。トレース波形は A だけが取込の対象となります。

Excel シート上のカーソルを左右/上下に移動し、データ取込開始位置を決定します。「START」ボタンをクリックするとカーソル位置からデータを取込みます。

測定後、測定結果を自動的に作図します。ただし、作図の対象となるのは、最初に取り込んだトレース波形だけです。

測定器本体で設定した GP-IB アドレスと同じ値を設定します。

チェックを付けたら、「START」の時、スペアナの設定を一切行いません。

測定中に「PAUSE」を押すと、1 サイクル測定後、一時停止となり、もう一度「PAUSE」を押すと測定を再開します。

測定を強制的に中止します。

データの取込間隔を分の単位で指定します。0 から 120 分の間で指定可能です。「MAX-HOLD」で「連続」を設定すると、ここで設定した時間間隔の間、MAX-HOLD で波形を取り続け、次の測定時間でその波形を取込後、一旦、波形をクリアした後、次の測定時間まで、再度、MAD-HOLD で波形を取り続けます。

データの取込間隔を秒の単位で指定します。0 から 120 分の間で指定可能です。

データの取込回数を指定します。1 から 1000 の間で入力してください。空欄の場合は、1000 となります。「STOP」で測定を自由に中断できます。

次ページ「アンテナ補正テーブル設定」参照

次ページ「スペアナの設定条件入力」参照

アドインを終了します。

## 測定器設定条件

測定器から受信した測定器の型式が表示されます。

測定器の設定条件を入力します。  
「現状」と表示されている場合は、  
現在の設定条件をそのまま保持します。

測定器の「REF.OFFSET」を設定します。  
チェックを外すと、「REF.OFFSET」はOFFとなります。

「MAX HOLD」は、MAX・HOLDモードで指定回数スイープ  
します。また、回数を1にすると「連続」が表示され、指定された  
測定時間間隔の間、MAX・HOLDモードで連続スイープします。  
「AVERAGE」は、AVERAGEモードで指定回数スイープします。  
「NORMAL」は通常モードで1回だけスイープします。

測定値の判定値を入力します。この範囲を外れたデータは、  
赤色でExcelシートに表示されます。  
空欄の場合、判定は行いません。

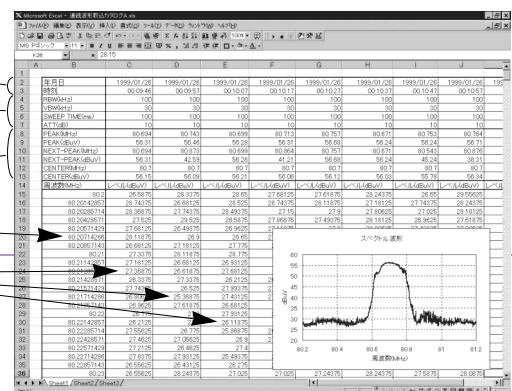
現在データ入力中のExcelブックを定期的な上書き保存します。  
保存する間隔を測定回数の間隔で入力します。

測定データ受信の時、測定器の設定条件  
(RBW, VBW, SWEEP TIME, ATT)を  
同時に取り込みます。

注)ここで設定できない項目は、事前に手動で設定してください。

### 測定結果例

年月日 / 時刻  
測定器の設定条件  
(RBW, VBW, SWEEP TIME, ATT)  
PEAK, NEXT-PEAK, CENTERの測定結果  
スペクトル波形データ(周波数)  
スペクトル波形データ(レベル)



データが入力される方向

## アンテナ補正テーブルの設定

1. アドインを起動する前に、アンテナ補正テーブルのデータをExcelシートに、周波数(MHz) / 補正値(dB)を1ペアで右図の様にキー入力します。  
周波数はMHzの単位、補正値はdBの単位で入力します。必ず縦方向に入力してください。  
Excelシート上のカーソルを、周波数データの先頭に置いて、アドインを起動します。パソコンとスペアナは接続状態にしてください。
2. アドイン起動後、前頁のメイン画面の「EMC」ボタンをクリックします。「EMCの設定援助」が表示されます。(右図)
3. 「アンテナ補正テーブル入力」ボタンをクリックします。Excelシート上のデータが順次、スペアナに送り込まれます。送信終了は、周波数または補正値のどちらか、または、両方の入力为空欄になるまでです。また、最大51ステップまでです。

Excelシート上のカーソルを上  
左右に移動します。

アンテナタイプの選択やアンテナ  
補正 / レベル補正機能のON/OFF  
を設定します。